

映像で追う 震災と原発

帯広「風のたより」19日上映会



「風のたより」上映会の打ち合わせをする田代監督（左端）ら実行委メンバー

東日本大震災と原発を題材にしたドキュメンタリー映画「風のたより」の上映会が19日午後1時半から、帯広市西10南5のコミュニティセンター「あがり・框」で開かれる。清水町在住の映画監督田代陽子さん（49）の作品。友人3人が「十勝でも上映の輪を広げたい」と田代さんと実行委を立ち上げた。

映画は震災直後の201

1年4月から2年間、道内外の3家族の姿を、青森県で建設中の大間原発問題を絡めて記録した。共働学舎新得農場で働いた後、渡島

管内七飯町でチーズを作りながら、大間原発反対活動をする山田農場の一家も登場する。

昨秋に「SHINTO KU空想の森映画祭」で初公開されて以降、管内では上映されていなかった。

上映会では田代さんのトークもあり、終了後の交流会では山田農場のチーズなどが振る舞われる。実行委の郡山圭子さん（53）は「いい映画なので多くの人に見てほしい」と話す。

料金は一般1500円、学生800円、中学生以下無料（別途ドリンク代200円必要）。定員50人。参加申し込みは実行委の西村さん ☎090・6264・5090へ。

（稲塚寛子）